

6月には作家の中島京子さん、ジャーナリストの寺田俊治さん、辺野古訴訟に関わる法学部教授白藤博行さんの講演会を行いました。今回は、相互の意見交換に重点を置いて、開かれた研究会にしようという趣旨で、ドイツ文学の視点から寺尾格さん、経済学の視点から石塚良次さん、そしてジャーナリストの視点から『日刊ゲンダイ』編集局長の寺田俊治さんが、今の経済と政治の状況について問題提起をします。みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。

## いま、経済と政治をどう考えるか

日時：2016年11月19日（土）14時～17時（開場13時半）

場所：専修大学 生田校舎 9号館 7階 973教室

◎どなたでも、ご自由にご来場いただけます。

### 第一部 問題提起 司会：高橋 祐吉（経済学部教授）

・寺尾 格（専修大学経済学部教授・ドイツ文学）

「ドイツ連邦共和国基本法第1条」

・石塚 良次（元経済学部教授・経済学）

「アベノミクス批判の落とし穴」

・寺田 俊治（日刊現代代表取締役社長）

「参院選後の安倍政権とマスメディア」

1959年東京生まれ、早大第一文学部卒後、「日刊現代」入社。『日刊ゲンダイ』のニュース編集部長などを経て、現在、代表取締役社長、兼、編集局長。

—————（休憩）—————

### 第二部 質疑応答

主催：専修大学九条の会 共催：専修大学教員組合

\*「専修大学大九条の会」連絡先：寺尾 [terao@isc.senshu-u.ac.jp](mailto:terao@isc.senshu-u.ac.jp)